

国家公務員採用試験一般職（高卒程度）受験者の皆様へ

# 近畿中国森林管理局

で働いてみませんか！

## 先輩職員からのメッセージ

### W さん(平成31年採用 一般職(高卒程度)事務)



#### 【現在取り組んでいる仕事】

台風などの自然災害により発生した危険木(倒木や枯損木など)を処理するための予算要求の取りまとめや、予算の管理・把握を行っています。また、職員の出張の計画・精算をはじめ、課内の事務用品や物品の購入・在庫管理など、庶務全般についても行っています。

#### 【職場の雰囲気】

事務区分で入庁したため林業についての知識はほとんど無く、入庁した頃は不安でしたが、分からないことは先輩や上司に聞くと分かるまで丁寧に教えてくださるので安心しました。また、自分の業務ではあまり山に行く機会がありませんが、OJT(※)として様々な業務の出張に同行させていただくことができます。様々な仕事に関わることができるので、課内や局で行っている仕事の全体像が見やすいと感じています。

※OJTとは・・・教育訓練の一種であり、職場を離れて行う集合研修に対して、実際の仕事に関連させながら指導育成すること。

#### 【林野庁の魅力】

林野庁の魅力は、林学を勉強せずに事務区分で入庁しても、実際に山に行く機会が多いということにあると感じています。私も、昨年度はイベントのスタッフとして山に行ったり、獣害対策の現場視察に同行したりと、様々な経験を積むことができました。また、研修が充実しているので、林業についての知識が少なくても心配はいりません。局だけでなく本庁での研修を含めると、1年間の間に様々な研修が計画されており、希望すれば担当業務とは直接関係ない分野の研修を受講することもできます。たくさん経験を積んで、楽しく仕事ができる職場です。

### S さん(平成28年採用 一般職(高卒程度)林業)



#### 【現在取り組んでいる仕事】

主に管理業務と車両の担当として、用地貸付や官用車の管理に関わる仕事を行っています。車両担当の仕事は、直接国有林野事業への関わりは薄いですが、現場まで安全に行き来し、円滑に業務を進めるうえで重要な役割を持っていると思いますので、万全の管理を徹底しています。管理担当については4年目に入り、少しずつ慣れてきましたが、対外的な仕事も多いので、緊張感を持って取り組んでいます。

#### 【職場の雰囲気】

私の所属する森林管理署は、若手職員の人数が局管内でもトップクラスに多く、賑やかな雰囲気です。上司と部下の間でも必要以上に壁がない雰囲気です。悩みごとの相談などもしやすい良い職場だと思います。

#### 【林野庁の魅力】

希望すれば日本各地へ転勤することも可能で、様々な人やものに関われることだと思います。

## N さん(令和2年採用 一般職(高卒程度)農業土木)



### 【現在取り組んでいる仕事】

私は治山グループの係員として、山地災害から国民の生命や財産を守る仕事、自然災害で発生した崩壊地の復旧作業などの仕事に取り組んでいます。実際の仕事では、現地で測量をしたり、測量データを元に事務所でCAD(※)を使っての製図作業、工事に必要な数量計算や工事費用の積算、現場監督などが私の行っている業務です。仕事内容によっては、コンクリートダムのようにこの先地球上に残る構造物を設計することができたり、工事で使用する大型の建設機械など、普段間近で見ることができないものを現地で見ることができ、とても興味深いです。

※CADとは・・・設計・製図を支援するシステムソフト

### 【職場の雰囲気】

とても話しやすく相談しやすい職場です。

私は高校で農業土木を学んでいたため、林業や林学が全く分からない状態で入庁しました。分からないことだらけでしたが、そんな私に声をかけてくださり、質問をすると自分の手を止めてまで1つ1つ丁寧に教えてくださり、分からないことは一緒になって考えてくださいます。上司の方のたくさんの優しさによる支えのおかげで、充実した仕事ができています。

### 【林野庁の魅力】

事務仕事だけでなく、現場に出る機会が多くあることです。

現場というのも、ときには汗をたくさん流しながら山を登るということもありますが、自然とのふれあいや登り切ったときの達成感は最高です。また、入庁するまで「林野庁＝山登り」というイメージがありましたが、そうではなく、ほかにもたくさんの業務内容があり、色んな事を体感しながら身につけていけるので面白いです。配属先によっては、観光地の多いところでの勤務もできるのでとても魅力に感じています。

## よくある質問にお答えします

### Q1) 試験区分によって担当業務が限定されますか。

A) 試験区分により担当業務が限定されることはありません。林業、農業土木、事務の区別なく、局又は署等で仕事をしてもらっています。

### Q2) 採用時の配属先はどう決定されるのですか。

A) 採用時の配属先は、事務区分の方は試験地域内（事務近畿なら近畿地方、事務中国なら中国地方）、その他の試験区分の方は、面接カードに記載された希望を参考にしながら配属先を決定します。

### Q3) 採用後は、全国異動となるのですか。

A) 人事異動については、基本的に配属局管内の異動となります。配属先は、本人の希望や適性を見ながら決定しますが、林野庁本庁や他局への異動も可能です。

### Q4) 林業の知識がありませんが業務に支障はないですか。

A) 林野庁には充実した研修のシステムがあり、必要な知識を習得しながら業務を行っているため、心配はありません。また、実際に林業の知識が無い方もたくさん採用しており、皆さん活躍しています。

### Q5) 体力に自信が無いのですが業務に問題はありますか。

A) 森林のパトロールや収穫調査、境界の見回りなどの業務を行っていただくこととなりますので、普通の山を歩く体力は必要です。なお、山を歩く体力は、ある程度慣れればついてきますので心配ありません。

### Q6) 林野庁には女性職員はどのくらいいますか。

A) 全職員の割合でいうと1割くらいですが、最近の採用状況は、女性職員が3割くらいと増えています。今後、男性職員が多い高年齢層が退職するため、大幅に増加する見込みです。

### Q7) 林野庁の仕事と環境省の仕事はどのように異なるのですか。

A) 林野庁は、国土の面積の2割を占める広大な国有林の管理・経営の仕事を主に行っています。山（国有林）に木を植え、育てて、伐採し、木材を販売する林業の仕事に従事できる一方、貴重な森林生態系や生物群集からなる国有林を保護し、モニタリングする仕事や、民家や施設を土砂崩れから守る治山事業など森林に関する様々な仕事を現場で自らの手で実現できます。また、民有林の整備、木材の有効利用等の国有林以外の森林・林業に関する幅広い行政に従事することができます。

一方、環境省のうち、特にレンジャーの仕事は、国立公園の管理、野生生物の保護などが中心であり、森林のみを対象としておらず、林業・木材産業などの産業政策とは目的を異にしています。

### 【お問い合わせ先】

近畿中国森林管理局 総務課 TEL : 06-6881-3421